

「夢が叶うまち、門司港レトロの誕生」

～高度成長できなかつた、だからこそ残った財産～

思い

軌跡



歴史あるまちを愛し、出会いと感動を大切に。
「こころ豊かな人々の住まうまち」
を目指します。



観光地となった港町 門司港レトロ地区

門司港レトロ倶楽部 4代目会長

高橋 泰雄

かつて栄えた港町は見る影もなし

明治、大正、昭和初期と、交通の要所として横浜・神戸に並ぶほど栄えた門司港。しかし戦後の交通の発展に伴い通過されるまちへとなり、日本の高度成長とは逆に衰退していった。

取り残されて気付く、我がまちの財産

ボヤキの声であふれかえていた昭和60年代。地元の若手と行政でまちづくりについて議論を交わした。「港と取り残された古い建物を活用して「観光」をウリのまちにしよう！」と…。

恋人達が手をつないで歩くまちへ変貌

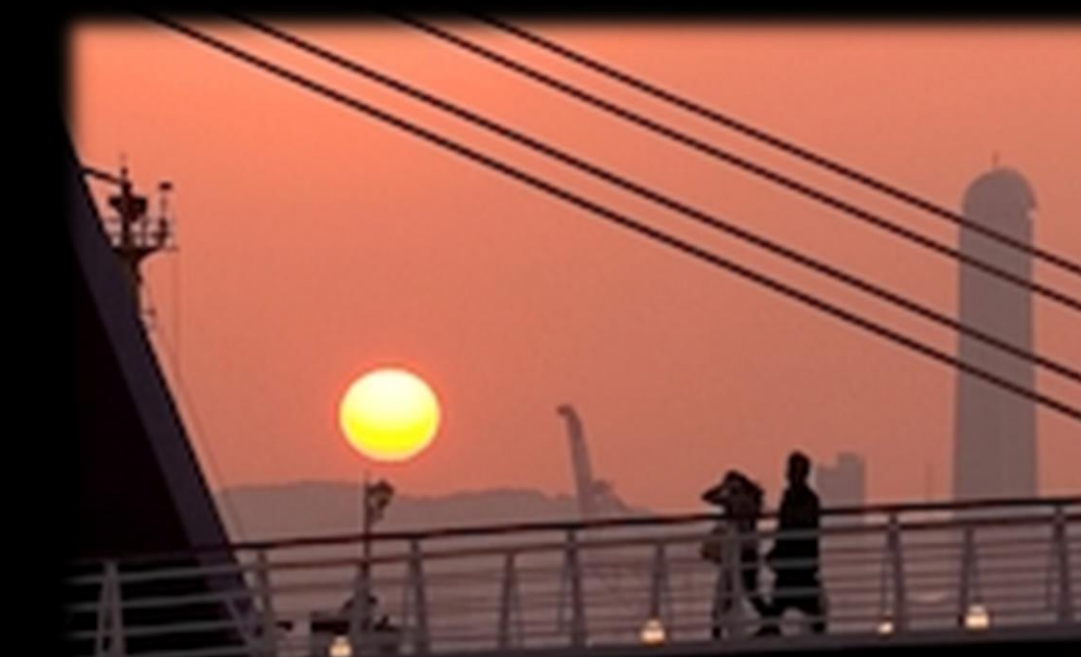
港と建物を整備したのちは、おもてなし。そのソフト面を担うべく門司港レトロ倶楽部が誕生。地元・事業者・行政が一体となって様々な取り組みをし、かつての寂れた港町は人気の観光地&デートスポットに。

門司港に行けばいつも何かやっている

現在は年間600件以上のイベントを誰かしらがやっていて、常になにか楽しい事ができないかをまちの先人も若手も一緒になって考えている。ハードだけでは飽きられる、大事なはその中身。「まちあるき」では観光目線ではない地元目線の案内をする工夫も。

世界のまち『KANMON』を目指して

今後は対岸の下関との連携を更に深めて『関門』を世界的にアピールしていきたい。



恋人の聖地 跳ね橋からの夕焼け



「門司海峡フェスタ」が門司と対岸の下関をつなぐ



高橋 泰雄

【主な活動実績】

平成7年12月 門司港レトロ倶楽部設立
平成8年5月 門司港レトロフェスタ(現:門司海峡フェスタ)スタート
平成12年3月 レトロ基金委員会設立 文化財保護の為の募金活動開始

〔参考URL〕 <http://www.retro-mojiko.jp/>